

平成28年度 第1回猪名川町地域公共交通会議 次第

日 時：平成28年7月1日（金）

午後2時30分～

場 所：猪名川町役場第2庁舎2階 委員会室

1. 開会

2. あいさつ

3. 議事

地域の実情に応じた適切な乗合運送について

（1）平成27年度 ふれあいバス運行実績について

（2）停留所設置要望等について

（3）バス車両の更新について

4. その他

5. 閉会

【MEMO】

平成28年度 猪名川町地域公共交通会議委員名簿

任期：平成28年4月1日～平成30年3月31日

	区 分	所 属	氏 名
1	学識経験者	鳥取大学 地（知）の拠点整備推進室 特命講師	天野 圭子
2	一般旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員	阪急バス株式会社自動車事業部長	野津 俊明
3	一般旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員	能勢電鉄株式会社鉄道事業部運転課長	東山 仁
4	一般旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員	一般社団法人兵庫県タクシー協会 日の丸ハイヤー(株)営業部長	田中 俊幸
5	一般旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員	公益社団法人兵庫県バス協会専務理事	中澤 秀明
6	一般旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員	阪急バス労働組合副執行委員長	越智 啓伸
7	住民又は利用者の代表	自治会長連絡協議会会長	坂井 征雄
8	住民又は利用者の代表	猪名川町社会福祉協議会会長	鍋谷 将
10	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部の職員	国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部首席運輸企画専門官	吉本 道明
11	兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所の職員	兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所所長補佐（企画調整担当）	大原 成幸
12	兵庫県川西警察署の職員	兵庫県川西警察署交通課長	井上 和弘
13	町の職員	猪名川町企画総務部長	山田 慎太郎
14	町の職員	猪名川町生活部長	福井 和夫
15	町の職員	猪名川町まちづくり部長	東田 誠
16	町の職員	猪名川町地域振興部長	橋本 佳之
	オブザーバー	兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課	

(順不同・敬称略)

平成27年度コミュニティバス（ふれあいバス）利用実績

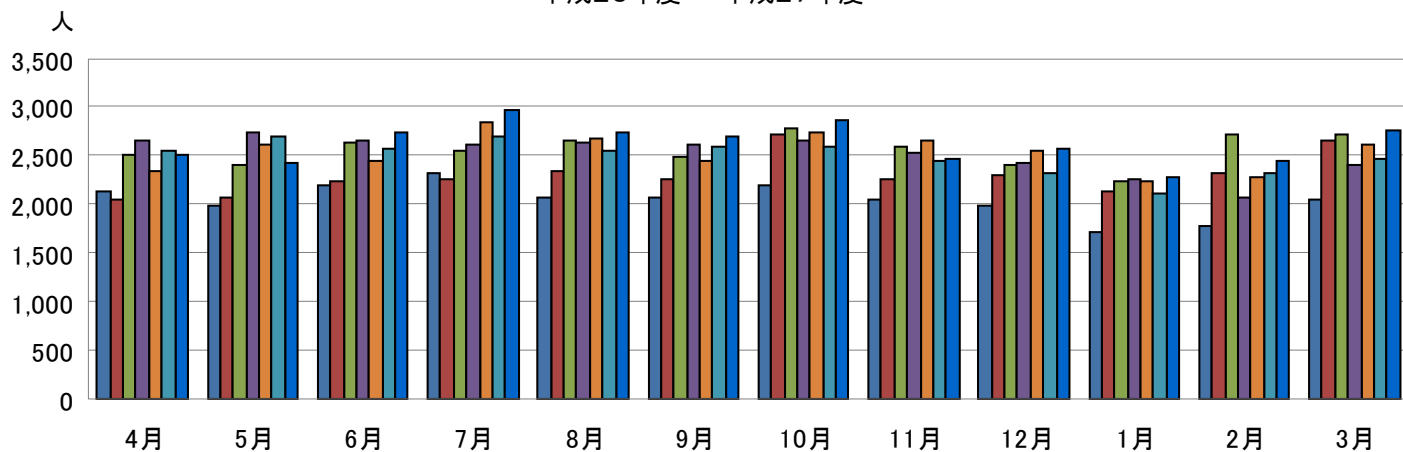
■ 年度別月別利用状況

(単位：人)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
21	2,133	1,977	2,187	2,321	2,054	2,057	2,200	2,049	1,987	1,709	1,761	2,043	24,478
22	2,048	2,073	2,227	2,250	2,336	2,246	2,719	2,244	2,292	2,124	2,307	2,661	27,527
23	2,502	2,403	2,626	2,555	2,660	2,486	2,776	2,581	2,403	2,232	2,709	2,716	30,649
24	2,660	2,726	2,647	2,615	2,627	2,618	2,650	2,533	2,422	2,253	2,060	2,391	30,202
25	2,347	2,603	2,436	2,835	2,662	2,445	2,745	2,648	2,537	2,230	2,272	2,610	30,370
26	2,537	2,695	2,572	2,698	2,550	2,578	2,598	2,436	2,323	2,104	2,307	2,465	29,863
27	2,506	2,412	2,725	2,961	2,734	2,686	2,866	2,455	2,568	2,278	2,436	2,766	31,393
前年比 (%)	98.8	89.5	105.9	109.7	107.2	104.2	110.3	100.8	110.5	108.3	105.6	112.2	105.1

月別利用者数

■ 平成21年度 ■ 平成22年度 ■ 平成23年度 ■ 平成24年度 ■ 平成25年度
■ 平成26年度 ■ 平成27年度



平成27年度の利用者数は31,393人となり、前年より1,530人(5.1%)の増となりました。平成25年度にダイヤ改正を行った結果、利用者が若干増加傾向になったもののほぼ横ばい傾向でしたが、ふれあいバスを運行して以来、最高利用者数となりました。

月別利用者数では、概ねどの月も対前年度で比較すると増加傾向となり、特に6月から10月の利用が多くなっていますが4月、5月の春先は対前年度比較で減少となりました。

■ 年度別運賃収入

(単位：金額 円・利用者 人)

年度	収入額	利用者数	平均運賃 (収入額÷利用者数)	運賃有料利用者		運賃無料利用者	
				利用者数	割合	利用者数	割合
21	866,662	24,478	35.4	8,824	36.0%	15,654	64.0%
22	892,154	27,527	32.4	8,529	31.0%	18,998	69.0%
23	883,632	30,649	28.8	8,474	27.6%	22,175	72.4%
24	844,748	30,202	28.0	7,507	24.9%	22,695	75.1%
25	959,254	30,370	31.6	5,666	18.7%	24,704	81.3%
26	831,767	29,863	27.9	4,417	14.8%	25,446	85.2%
27	946,451	31,393	30.1	4,965	15.8%	26,428	84.2%
前年比 (%)	113.8	105.1	108.2	112.4	—	103.9	—

(単位：人)

年度	運賃無料利用者の内訳					
	すこやかカード		障害者手帳		小中学生[夏休み]	
	利用者数	割合	利用者数	割合	利用者数	割合
21	14,879	60.8%	775	3.2%	※※※	※※※
22	18,263	66.3%	735	2.7%	※※※	※※※
23	20,875	68.1%	1,275	4.2%	25	0.1%
24	21,251	70.4%	1,283	4.2%	161	0.5%
25	23,143	76.2%	1,448	4.8%	113	0.4%
26	23,410	78.4%	1,862	6.2%	174	0.6%
27	23,900	76.1%	2,404	7.7%	124	0.4%
前年比 (%)	101.2	—	128.6	—	154.0	—

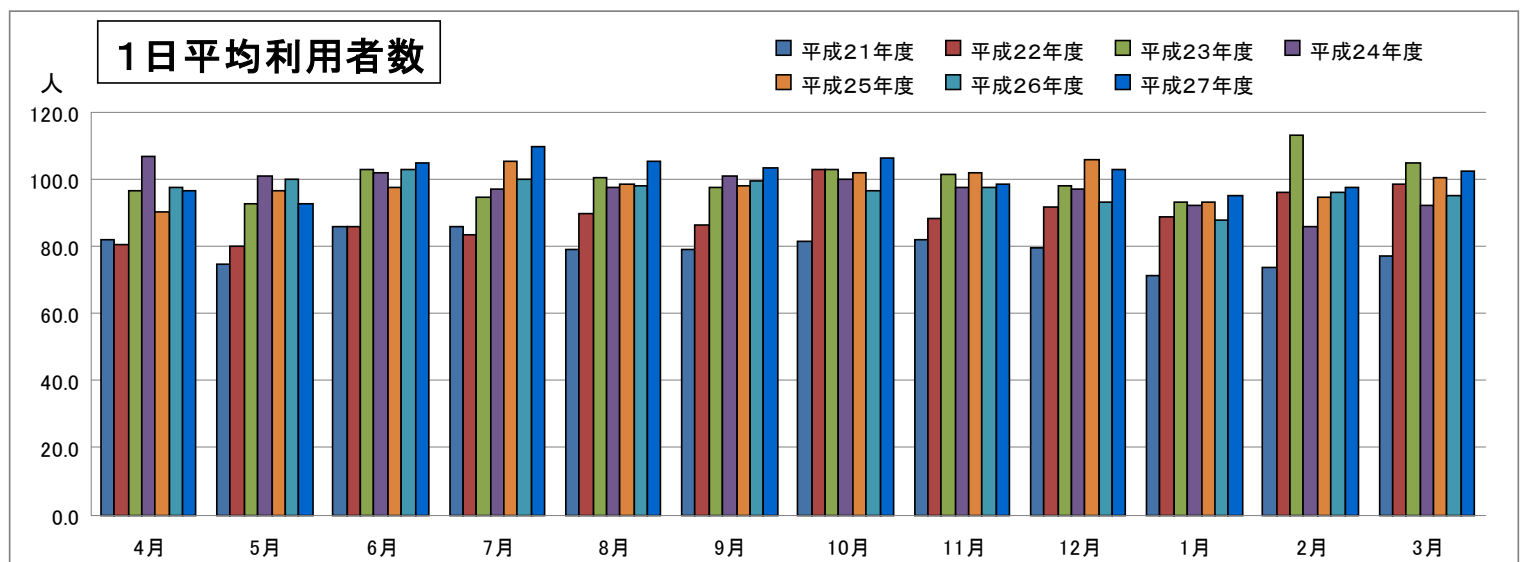
平成26年度の運賃収入額は、946,451円となり、前年度と比較して約13.8%の増加となりました。利用者増が約5%であったことを考えると、有料での利用者増が、全体の利用者増の要因と考えられます。

なお、依然としてすこやかカードの利用者数は年々増加しており、ふれあいバスの利用者の大半を占めています。

■ 1 日平均利用者数

(単位：人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	平均
21	82.0	74.6	85.8	86.0	79.0	79.1	81.5	82.0	79.5	71.2	73.4	77.1	79.3
22	80.5	79.7	85.7	83.3	89.9	86.4	102.6	88.0	91.7	88.5	96.1	98.6	89.2
23	96.3	92.4	103.0	94.6	100.4	97.5	102.8	101.2	98.1	93.0	112.9	104.5	99.7
24	106.4	101.0	101.8	96.9	97.3	100.7	100.0	97.4	96.9	92.0	85.8	92.0	97.3
25	90.3	96.4	97.4	105.0	98.6	97.8	101.7	101.8	105.7	92.9	94.7	100.4	98.6
26	97.6	99.8	102.9	99.9	98.1	99.2	96.2	97.4	92.9	87.7	96.1	94.8	97.0
27	96.4	92.8	104.8	109.7	105.2	103.3	106.1	98.2	102.7	94.9	97.4	102.4	101.2
前年比 (%)	98.8	92.9	101.9	109.7	107.2	104.2	110.3	100.8	110.5	108.3	101.4	108.1	104.3

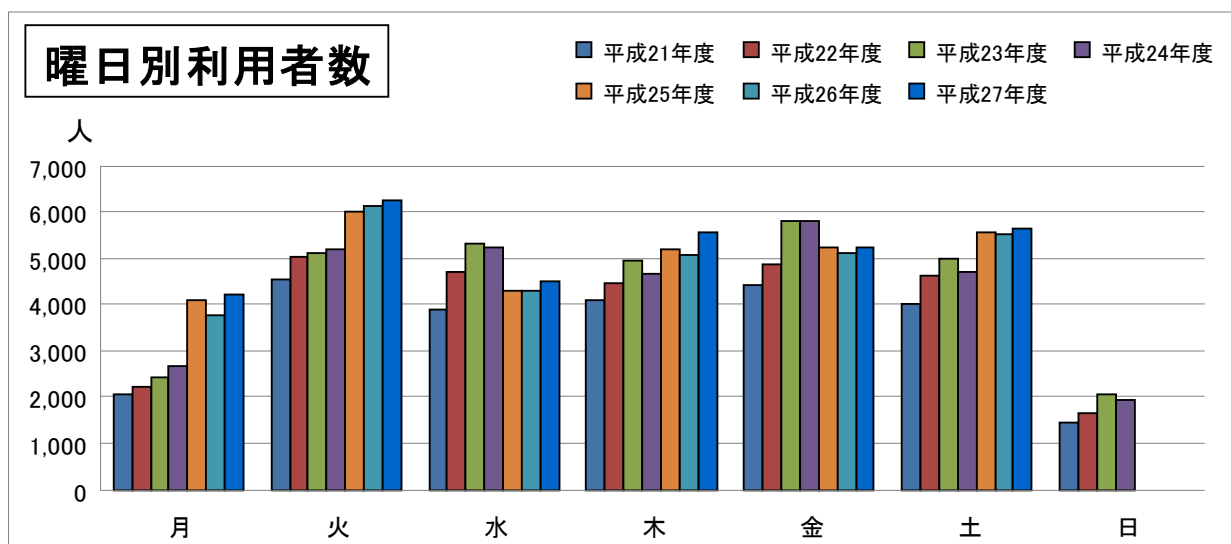


1 日平均利用者数は、前年度と比較して4. 2 人（3. 1 %）増加となりました。

■ 曜日別利用者数

(単位：人)

年度	月	火	水	木	金	土	日	計
21	2,059	4,558	3,895	4,088	4,412	4,027	1,439	24,478
22	2,232	5,030	4,693	4,455	4,869	4,608	1,640	27,527
23	2,436	5,118	5,323	4,934	5,801	4,979	2,058	30,649
24	2,678	5,200	5,220	4,675	5,807	4,692	1,930	30,202
25	4,076	6,012	4,305	5,194	5,226	5,557	—	30,370
26	3,769	6,105	4,291	5,073	5,096	5,529	—	29,863
27	4,212	6,248	4,496	5,558	5,241	5,638	—	31,393
前年比 (%)	111.8	102.3	104.8	109.6	102.8	102.0	—	105.1



曜日別に見ると、月曜日の利用者数が少なくなっており、図書館や総合福祉（ゆうあい）センターの休館日となっていることが影響していると推測されます。

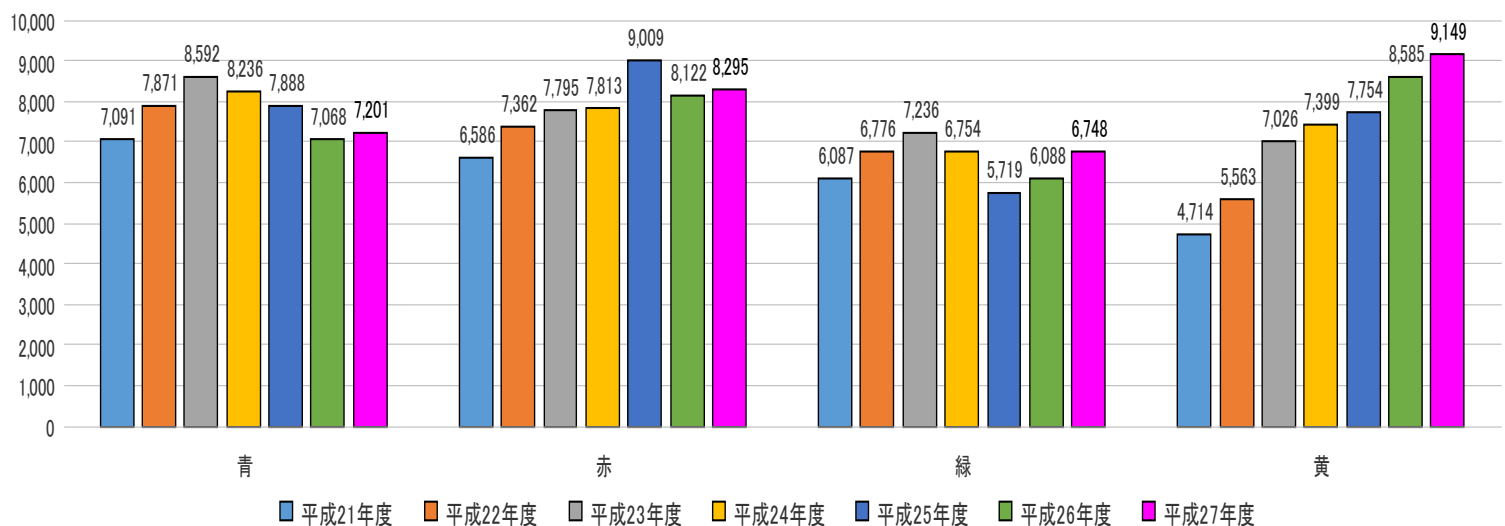
また、平成25年1月のダイヤ改正により、月曜日は2コースの運行、日曜日は運休日となっています。それ以前は、月曜日と日曜日は1コースのみ運行していたため、月曜日は運行コースの増加に伴い利用者数が増加しています。

■ コース別利用者数

(単位：人)

年度	青	赤	青・赤小計	緑	黄	緑・黄小計	合計
21	7,091	6,586	13,677	6,087	4,714	10,801	24,478
22	7,871	7,362	15,233	6,776	5,563	12,339	27,572
23	8,592	7,795	16,387	7,236	7,026	14,262	30,649
24	8,236	7,813	16,049	6,754	7,399	14,153	30,202
25	7,888	9,009	16,897	5,719	7,754	13,473	30,370
26	7,068	8,122	15,190	6,088	8,585	14,673	29,863
27	7,201	8,295	15,496	6,748	9,149	15,897	31,393
前年比 (%)	101.9	102.1	102.0	110.8	106.6	108.3	105.1

コース別利用者



[青コース]：奥猪名健康の郷～ゆうあいセンター～イオンモール猪名川～日生中央

[赤コース]：柏原～ゆうあいセンター～イオンモール猪名川～日生中央

[緑コース]：内馬場～日生中央～イオンモール猪名川～ゆうあいセンター～槻並仁部上

[黄コース]：千軒～日生中央～ゆうあいセンター～イオンモール猪名川～つつじが丘～上肝川

通学時におけるふれあいバスの利用について

北部地域（楊津校区、大島校区）に在住の概ね高校生から大学生の年齢にあたる方々の人数は下記のとおりだった。

平成27年10月時点人口					平成33年予測人口				
	地区名	15～19	20～24	15～24		15～19	20～24	15～24	
		計	計	合計		計	計	合計	
1	旭ヶ丘	49	47	96		37	49	86	5年後には72名の人口減少が予想される。
2	尾花	2	2	4		0	2	2	
3	柏原	5	8	13		5	5	10	
4	鎌倉	4	3	7		5	4	9	
5	川向	2	0	2		2	2	4	
6	島	18	23	41		14	18	32	
7	清水	18	32	50		17	18	35	
8	清水東	2	6	8		1	2	3	
9	杉生	9	10	19		7	9	16	
10	仁頂寺	5	6	11		2	5	7	
11	西畑	6	6	12		8	6	14	
12	アイディタウン笹尾	17	14	31		13	17	30	
13	猪名川グリーンランド	18	6	24		2	18	20	
14	木津	1	3	4		4	1	5	
15	木津上	10	11	21		3	10	13	
16	木間生	0	2	2		0	0	0	
17	笹尾	16	11	27		15	16	31	
18	槻並	3	10	13		8	3	11	
19	枋原	6	6	12		0	6	6	
20	ハウディ猪名川	2	5	7		1	2	3	
21	林田	0	2	2		0	0	0	
22	東山	11	7	18		12	11	23	
23	万善	7	9	16		1	7	8	
24	万善荘	0	0	0		0	0	0	
合計		440				合計		368	

現在（平成27年10月時点）の北部地域在住の15歳～19歳の方は211名、20歳～24歳の方は229名、合計440名。

5年後（平成33年）の人口推移を見ると15歳～24歳は368名と減少傾向にある。

運転手の方から聞き取りを行ったところ、北部在住の高校生や大学生がふれあいバスを頻繁に利用するという印象はあまりないとのことだった。

昨年度実施したOD調査結果からも、上記の年齢層によるふれあいバス利用者は数名だった。

停留所設置要望箇所等



●旭ヶ丘 停留所

【要望理由】

- ①高齢者増加に伴う歩行困難者への配慮
- ②住宅地内の立地条件への配慮（急坂）

【確認結果】

確認場所① 設置可能

ただし、希望箇所よりも 10m 程度上（ヤマザキショップ跡地付近）に停留所を設置し、乗降は向かい側（下りの際）で行う。

その際に、側溝があるので、安全対策としてグレーチングが必要。

冬季の凍結箇所でもあり、停車中に他車の追い越しなど危険は考えられる。

確認場所② 設置不可

乗降場所が急こう配であることから、車両ステップが傾斜するなど、安全な乗降が確保できない。

確認場所③ 設置不可

乗降場所が急こう配であることから、車両ステップが傾斜するなど、安全な乗降が確保できない。

確認場所④ 設置可能

カーブ付近であり、若干の危険性は考えられるが、設置は可能。

設置箇所は、空き地に標柱を設置する。

旭ヶ丘周辺停留所新設要望箇所



●猪名川荘苑自治会館前 停留所

【要望理由】

- ①高齢者増加に伴う歩行困難者への配慮
- ②住宅地内の立地条件への配慮（急坂）

【確認結果】

移設場所 移設可能（＊別紙参照）

平地のため現乗降場所より乗降しやすい

ただし、停留所移設場所が住民宅の目の前となるため、住民の同意が必要となる。

平成25年度に路線を見直した際にも同様の検討を行った結果、移設先の住民から標柱の設置の同意が得られなかった。阪急バス株式会社からは、大きな変更ではないため、対応は可能だとお返事をいただいているが、地域住民の理解を得る必要がある。

また、自治会からは下記のような結論をいただいている。

【自治会内での協議結果】

現在の停車位置は、側溝の横になり乗降の際に危ないと感じる。ただし、運転手の配慮で停車位置を道路のセンター寄りにしてもらっており、安全に乗降できている。

役員も特に今回のようなことは相談を受けていないため、特に問題視せずに現状のままとする。との結論を得ています。

猪名川荘苑周辺停留所移動要望



●南田原停留所

停留所設置以来利用実績がなく、過去の運行見直しの際にも停留所廃止について検討した。しかしながら、当時の自治会長を含めた協議の結果、南田原地区には現停留所以外に停留所はなく、移動手段に一切の公共交通がないことは望ましくないとの判断から停留所廃止にはいたらなかった。

南田原口停留所



●生駒病院 停留所（新設）

生駒病院の入口までバスが進入できるようバス停を新設。ロータリーを利用して転回する。駐車場の関係から病院側とも慎重に協議をしていく必要がある。

【要望理由】

- ①病院利用者が乗降する際への配慮
- ②停留所から停留所までの距離が遠いことへの対策
(パークタウン東口から広根中まで約650m。)

【確認結果】

新設場所 新設可能（＊別紙参照）

ロータリーまでの道路は4m以上あるため、バスが通れる車幅は確保できている。

しかしながら、転回場所を想定しているロータリーは来院者の駐車場（身障者用3台含む）として利用されていることから、病院側との協議が必要。

生駒病院（バス乗り入れ）

ロータリーで転回する。
現在駐車場として使用している場所に駐車は不可。*身障者用3台含む



ふれあいバス車両更新について（平成２８年度）

■車両

リエッセ（日野自動車） ※現行車種

全長 6,990mm 全幅 2,080mm 全高 2,820mm

定員 38 名（座席 13 名、立席 24 名、運転手 1 名）

ローザ（三菱ふそう） ※現行車種

全長 6,245mm 全幅 2,010mm 全高 2,735mm

定員 26 名（座席 12 名、立席 13 名、運転手 1 名）

ポンチョ（日野自動車） ※検討車種

全長 4,900mm 全幅 1,920mm 全高 3,100mm

定員 29 名（座席 10 名、立席 18 名、運転手 1 名）

■車両選考

車両の更新については、平成２６年度に１台の更新「ローザ（三菱ふそう）」を行った。

現行車種であるリエッセが廃車となっているため、運行委託を行っている阪急バス㈱において、導入実績のある車種から選考を行った。

導入実績のある車種としたのは、安全な運行を行うに際して車両の定期点検等を行う必要性があり、導入実績のある車種を選定することが望ましいと判断したため。

結果、上記のローザ、ポンチョが候補車種として残り、現行車種と車体の大きさが近いローザを選定するに至った。

今回（平成２８年度）、新たに１台の車両を更新するにあたり、現行車種である「ローザ」とノンステップバス「ポンチョ」で下記のとおり再検討を行った。

車 種	メリット	デメリット
ローザ	・ 前回更新時からの運行実績がある ・ 現行ルートにおいては侵入不可能な場所がない ・ ワンステップバスのためバリアフリー対応に優れている。	・ デフォルトの仕様がマイクロバスであり路線バス仕様ではない。
ポンチョ	・ ノンステップバスのためバリアフリー対応に優れている。 ・ 路線バス仕様のためコミバスとしての運行に優れている	・ 一部試運行を除いて運行実績がない ・ 現行ルートでは侵入不可能な場所がある

■問題点

現行車種と大きさが変わるポンチョは、実際に町内で試験運行（平成25年8月5日）を行ったが猪名川荘苑や南田原など一部の区間で車高の関係から車体底部を擦ってしまう場合や、橋脚の制限高をクリアできないなど走行に支障をきたす区間があった。

荘苑口において、勾配がきつく車低部を擦る可能性がある。

ポンチョは、エアサスペンション方式を採用しており、車低を上げることも可能になっているが、毎回、車低をあげる操作が必要となり、運転手に掛ける負担が大きいため、万一の事故を考慮して適さない。

また、南田原口のガードの桁高表示が3,200mmとなっており、全高に対して10cmしか余裕がなく、実走を試みたが接触する危険性もあり、断念した。

その他、槻並地区でも草刈りや、岩などの障害物を取り除くことが条件となる地区もある。

*「ポンチョ」運行時の問題箇所

	場所	支障の状況	対策方法	対策後の走行
①	猪名川荘苑入口	左折時にバスの底が路面に接触する。バスに搭載されている車高調整装置で車高を上げる（最大30mm）と辛うじて擦らずに左折できる。	道路を改修し、勾配を緩やかにする。	-
②	猪名川荘苑内 （三方造園前）	左折時にバスの底が路面に接触する。バスに搭載されている車高調整装置で車高を上げる（最大30mm）と擦らずに左折できる。	宅地が張り付いているため、道路の勾配は変更できない。	×
③	上阿古谷字阪口付近	左折時に草むらに侵入してしまう。草むらに大きな石が散在しているため、乗り上げてしまう可能性がある。	草を刈って運転手の視界を確保する。	○
④	上阿古谷字阪口付近	走行時、屋根と枝が接触する。	枝を伐採し、接触を回避する。	○
⑤	今井病院敷地内	駐車車両を避けて走行すると、バスの屋根が建物と接触する箇所がある。	病院に依頼して、走行に支障の出る箇所に駐車をさせないようにする。	○
⑥	槻並 （仁部上バス停付近）	草が茂っていれば、岩が確認できず車体と接触してしまう。	草を刈って運転手の視界を確保する。	○
⑦	イオンモール内	猪名川中学校側の出口付近において高さ制限（2.5m～3m）を設けているため走行不可。	高さ制限を設けているのは、3階から降りてくる車のスロープのため、回収は不可。	×

「ポンチョ」を導入する際には、「ポンチョコース」「ローザコース」を設けて運行することを想定していたが、万が一「ローザ」がメンテナンスや故障等により運行できなくなった際に、町内全域に停留所を置いた現在の運行ルートにおいて、「ポンチョ」では走行不可能な場所がある。

平成26年度の車両更新の際に代車として残すこととなった前車両「リエッセ」のメンテナンス、維持管理等を阪急バス㈱が行っていることから、「ポンチョ」で走行できない場所を「リエッセ」が走行するという発案もあったが、前車両の経年劣化は著しく、路線バスとして運行は難しい。一部の地域に運行できないルートがあっても、コミバスとしての当初の目的から外れてしまうことが考えられる。